

質問 深層地下水100%の昭島市の水道水について、①水のトイレットホルダーを水道のスペシャリストを多導入する考えは。

答弁 ①各種専門研修に積極的に参加している。今後、も時代に求められる能力・資質を兼ね備えた人材育成に努めていく。②魅力的な昭島づくり推進の過去3年間の水質検査で平均6.3ナノグラムと国の暫定目標値を大きく下回っている。今後も正確な情報提供と丁寧な説明に努める。

質問 都市計画道路の整備による交通導線の良さや良質な住宅環境の形成など、大変大きな成果を出している中、神土地地区画整理事業について、第二工区旧駅前プロットの今後の方針・方向性についての考えは。

答弁 引き続き住民の意見に耳を傾け、快適な都市生活が送れるまちづくりの早期実現に向けて取り組んでいく。

質問 深層地下水100%の昭島市の水道水について、①各種専門研修に積極的に参加している。今後、も時代に求められる能力・資質を兼ね備えた人材育成に努めていく。②魅力的な昭島づくり推進の過去3年間の水質検査で平均6.3ナノグラムと国の暫定目標値を大きく下回っている。今後も正確な情報提供と丁寧な説明に努める。

質問 公園内のトイレットパーについて、盗難防止等、また利用者の不安や



深層地下水100%の昭島市の水道水について

自由民主党昭島市議団 木崎 親一 議員

質問 一層魅力ある昭島市民くじら祭となるよう、①物価高騰や人件費の値上げを鑑み、補助金を増額すべき。②市職員のパレード参加等、今以上に市も積極的に参画していく考えは。

答弁 ①市制施行70周年を彩る祭りとなるよう、全体の予算を見極めたうえで、最大限の配慮を考えていく。

質問 ②より主体的な関わりができるよう、どのような参画形態が可能か実行委員会と相談しながら検討していく。

一般質問 (要旨)



消防さんきょうだい出動～!(出初式)

質問 H P Vワクチンの接種について、①男性への接種助成制度の創設を。②令和6年度末で終了を予定している女性へのキャッチアップ接種について、今後の対応は。

答弁 ①男性は任意接種のため、まずは、女性に対する定期接種やキャッチアップ接種の着実な推進に努めていく。②これまでの考え方を踏襲し、様々な視点から検討を行い、更なる周知に努めていきたい。

質問 市民の生活環境と昭島の豊かな自然環境に重大な影響を及ぼす、G L P昭島プロジェクトについて、

質問 市民の生活環境と昭島の豊かな自然環境に重大な影響を及ぼす、G L P昭島プロジェクトについて、



互いに支え合い 尊重し合うまちづくり

公明党昭島市議団 大島 ひろし 議員

質問 地球温暖化の影響で夏が厳しくなる中、既存の公園や新規の公園にこの補助を受けていること、都の動向を注視している。

答弁 庁舎南側のせせらぎ施設や昭島駅前壁泉を生かすことについて、通学路の安全確保を含めた交通問題に関する見解は。

質問 国が進めるシステム標準化に合わせ、多様な納付方法へ対応が可能となるよう検討を進める。

質問 国が進めるシステム標準化に合わせ、多様な納付方法へ対応が可能となるよう検討を進める。

質問 国が進めるシステム標準化に合わせ、多様な納付方法へ対応が可能となるよう検討を進める。

質問 国が進めるシステム標準化に合わせ、多様な納付方法へ対応が可能となるよう検討を進める。



昭島都市計画神土地地区画整理事業について

無党派 南雲 隆志 議員

質問 ①都は道路詳細設計に着手しており、引き続き早期整備を要望していく。②都は関係機関と協議を進めており、引き続き要望していく。③市民から設置要望があり、検討している国から聞いていく。

質問 ①都は道路詳細設計に着手しており、引き続き早期整備を要望していく。②都は関係機関と協議を進めており、引き続き要望していく。③市民から設置要望があり、検討している国から聞いていく。

質問 ①都は道路詳細設計に着手しており、引き続き早期整備を要望していく。②都は関係機関と協議を進めており、引き続き要望していく。③市民から設置要望があり、検討している国から聞いていく。



G L P昭島プロジェクト 交通量調査は疑念が残るが

日本共産党昭島市議団 佐藤 文子 議員

質問 中学校で行われた校則改善の取り組みは意義深いものと考えていく。

質問 中学校で行われた校則改善の取り組みは意義深いものと考えていく。

質問 中学校で行われた校則改善の取り組みは意義深いものと考えていく。

会議の開催状況

定例会前

- 11月14日 総務委員協議会
- 15日 厚生文教委員協議会
- 17日 交通機関改善対策特別委員会
- 20日 立川基地跡地利用対策特別委員会
- 21日 議会運営委員会

第4回定例会

- 11月29日(12月1日) 本会議
- 12月4日 議会運営委員会・本会議
- 7日 総務委員会
- 8日 厚生文教委員会・厚生文教委員協議会
- 11日 建設環境委員会・建設環境委員協議会
- 12日 基地対策特別委員会
- 15日 議会運営委員会・本会議

定例会後

- 1月15日 議会運営委員会

討論

本会議での採決に先立ち、討論が行われました。

補聴器購入費用等の助成制度に関する請願を不採択とする委員長報告について

反対

難聴高齢者は、自分が難聴であるという自覚がないことが多く、早期発見のためには高齢者に対する聴力検査が重要である。特定健診等と併せて聴力検査をオプショナルとして行うことは可能と考える。

補聴器については、使用している期間が長くなるにつれて、コミュニケーション能力が向上し、認知能力に反対する。

の低下が48%抑制されたという研究成果もある。市が助成を行い、補聴器が購入しやすくなれば、市場の拡大で補聴器の価格が低下し、更に購入しやすくなるという好循環が期待できる。また、既に購入費用等の助成を行っている自治体も多く、自治体が続くことで、その必要性を国や都が認識し、全国的な制度が早期に実現する可能性も高まる。

以上の理由から、本請願を不採択とする委員長報告に反対する。